



思春期の心の発達を理解する

－生きる力を引き出すために－

日時 2020年 **2/12** (水) 14:30~16:00
(開場 13:30)

場所 **学術総合センター内 一橋講堂**
(神保町駅 徒歩4分)

■ 思春期の経験と環境がその後の人生に与える影響

東京都医学総合研究所 心の健康プロジェクト プロジェクトリーダー **西田 淳志**

日本をはじめとする先進諸国では、平均寿命がのび、100歳を超えて生きる人たちもこれまで以上に多くなってきました。人間の生涯はとも長くなっています。近年の研究では、高齢期の健康や幸福感は、思春期の様々な環境や経験によって影響を受ける可能性が指摘されています。思春期には、脳が第二次性徴ホルモン等の影響を受け、喜怒哀楽といった感情の起伏も大きくなり、その時期に経験する様々な出来事が強い感情体験とともに鮮明に記憶されていきます。そうした経験や記憶は、人の価値形成に影響を与え、その後の人生に長期的な影響を与えるといわれています。この講演では思春期の経験や環境の大切さについて考えたいと思います。

■ 思春期：どう生きるかをなやみ、ためす時期

東京大学医学部附属病院 精神神経科 教授 **笠井 清登**

これまで思春期は、子どもと大人の間の人生の時期と考えられてきました。しかし最近では、思春期は単に大人になる前の未成熟で衝動的な時期ではなく、社会のなかで長期的に人生を送るために必要な力を身につけ、引き出す、特別に大事な時期であることが分かってきました。東京ティーンコホートの研究結果を紹介しながら、その力の構成要素とは何かを皆様と考えたいと思います。児童・思春期という、本来学業等に専念したい時期に、身体や精神に障がいのある家族をケアする役割を担っているヤングケアラーについても触れたいと思います。また思春期は、こころの不調が始まりやすい時期でもあり、こうした不調を理解しケアするうえで、思春期がどういう時期であるかを踏まえることの重要性についてもお話しさせていただきます。

定員・申込方法

先着500名様 / 要約筆記あり

事前申込制 往復ハガキまたは電子メールにて(1通につき2名様まで)

往復ハガキは、〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 事務局 研究推進課 普及広報係宛
住所、氏名(フリガナ)、参加希望人数、2名希望の場合は同伴者氏名(フリガナ)、電話番号を記入し、「第8回都民講座希望」とご記入ください。電子メールは、tomin@igakuken.or.jpへ、件名に「第8回都民講座希望」、本文に氏名(フリガナ)、2名希望の場合は同伴者氏名(フリガナ)、電話番号を入力してください。

※無効となる場合がございますので、記入漏れのないようご注意ください。

※スマートフォン、携帯電話からのメールによるお申込みの場合は、受信拒否設定の解除をお願いいたします。

※応募メールを送信してから、3営業日以内に弊所からの受付メールが届かない場合は、恐れ入りますが、迷惑メールフォルダをご確認ください。

迷惑メールフォルダにも不着のようでしたら、メールアドレス、本文、件名等を再確認頂き、メールの再送信をお願いいたします。

申込締切 **2月7日(金)必着**